



Pure 純 No.204 Pacific パ Jul.2019

純パの会会報「純パ」第204号

2019年7月27日発行 / 発行: 純パの会

ライオンズファンが、 最強の若鷹たちへ敬意を込めて

塚原 裕子

福岡ソフトバンクホークス、交流戦優勝おめでとうございます。ベストメンバーではない中、最後に決めてくれたのはさすが！ としか言いようがありません。

投手、野手ともに育成が上手いホークスに対して、わがライオンズは打ち勝つ野球に限界が見えているのは明らかと感じます。こうなると、選手の茶髪にもイラっとしてしまう、そんな日々を過ごしております。

そこで気分を変えて、今年も昨年の「イーグルス応援クラッチカレー」に続き、第二弾として交流戦優勝を祝し「ホークスカレー」の制作に挑みました。カレーでお見せ出来ないのが残念ではありますが、南海ホークス時代の1972〜76年までホームで使用したユニフォームを再現しました。ホークスファンの方なら、どのようなユニフォームかピンときたでしょうか。

昨年のクラッチカレーではクックパッドを参考にしましたが、今回は使用する材料や色味の調合などすべて独自で考えてみました。

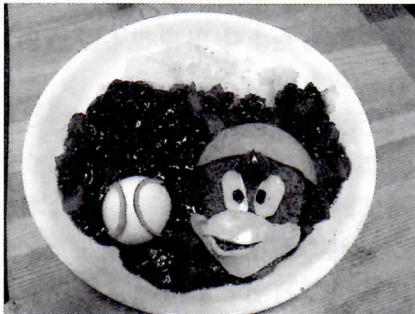
ポイント

- ①ユニフォームのロゴは海苔で型抜き(19番は監督兼選手の野村さん)
- ②キャップ、襟、袖の深緑はズッキーニを使用(キャップのマークはマヨネーズ)

③襟、袖ラインの黄土色は玉子の黄身に青汁の粉を混ぜて焼いたもの(配合比は秘)

南海ホークスに黄土色を取り入れたきっかけは、当時の野村監督が1971年にピッツバーグ・パイレーツのワールドシリーズ観戦時にバイレーツが着用していたイエローカラーのユニフォームが格好良く見えて採用したそうです(※ユニフォーム研究家の網島理友さん著の『プロ野球ユニフォーム物語』から引用)。

今回も完全に自己満足の世界で恐縮ですが、少しでも懐かしんで頂けたら幸いです。調子に乗り第二弾と書いていますが、今後シリーズ化の予定はございません。気分次第で楽しんでおります。



●写真上…今回作った南海ホークスカレー
写真下…昨年作ったクラッチカレー